

**第一志望の実現に向け、問題集の効果的な進め方を紹介します。**

最近よく「問題集はどうやって進めればいいんですか？」や「1ページにどのくらいの時間をかければいいんですか？」といった質問を受ける。みんなは文法・語法を学習するための道具として「Vintage」を持っているが、その使い方がわからずに手を付けられないで悩んでいる人がいるようだ。そこでその悩みを解消するためのアドバイスについてこれから話していきたい。もちろん必ずここに書いたとおり進める必要はないが、これまでも問題集を使って勉強したが効果が上がらなかった人は、是非一読し、効果的に問題集を進めて欲しい。

**1. 見開き1ページを15分で!**

先ず初めに話しておきたいのが、**問題を解くのに時間をかけ過ぎるな**ということである。解説を含めても見開き2ページを10分から15分で終えて欲しい。「15分では全部覚えきれません」という人がいると思うが、1度ですべて覚え込む必要はない、人間は忘れる動物であることを認識して、繰り返しやることを重要視してほしい（詳細は後述する）。問題集を使う目的は、**自分は何が分からないのかを見つけ出すことにある**。だから、なるべく立ち止まらずに進んでいって欲しい。ではどのようにして15分で進めていくのかについて具体的に説明していこう。

**2. 答えが○のときこそ注意が必要だ!**

左ページの問題に取りかかる前に、一度解説を読んでみる。ここでなぜ問題を先にやらないかについて話す。問題を解いてその答が合っていると、ついついできた気になってその問題の解説を飛ばしてしまいがちである。しかし間違えたときより、正解を出した場合にこそ気をつけなければならないのである。なぜなら、その答えはなんとなく選んで正解だったのかもしれないし、カンで答えて正解だったかもしれない。この場合と正しいプロセスを追って正解にたどり着いた場合とでは、あとで大きな差が出てくるのだ。つまり問題を解くというのは、その答えがあっているか間違っているかをチェックするのではなくて、**その答えを導き出したプロセスが正しいかどうかを確認すること**なのである。そこで問題を解くプロセスを知らない場合、カンを頼りに問題を解くことになるので、これは意味のない作業となる恐れがある。そこで先に解説を読んで解法のプロセスを習得し、これを問題を解くという作業で確認していくほうがロスのない進め方だ。

**3. どんな小さな疑問でもそのままにするな!**

しかし解説を読んでいってもそこで意味の解らない語句が出てきたり、説明している内容をよく把握できないということがあるだろう。そんな時に大事なのが、**どんな小さな疑問でもそのままにしないこと**である。ではここで君はどのようにしてその疑問を解決しようとするだろうか。参考書を開くとしよう。しかし参考書を開いても、またそこに難しい語句が出てきてどうにもならないという経験をしたことがあると思う。なので一番速い方法は先生に聞くということである。もし近くに先生がいる場合にはその場で、遅くとも翌日には必ず質問に来て欲しい。我々も教えることに関してはプロなので、短時間でわかりやすく説明しよう。

ただし質問を受けたときに困るのが、質問に来た生徒がどこを質問するはずだったのかをチェックしていないために、それを捜すのに時間がかかることである。極力短い時間にたくさんの質問に答えたいので、必ず質問したい項目には色ペンなどで大きく「?」をつけ、さらにそのページに付箋をつけたり、メモ用紙に質問のあるページをピックアップしておくなどの工夫をしておいて欲しい。

#### 4. 設問は1題につき15秒以内で！

さて解らない語句を先生に質問し、納得したあとは設問に取りかかろう。ここで設問1題につき15秒以内で解くという時間設定をする。もし時間以内にプロセスが浮かばない場合には解答や右ページの「語句」を読んで正解を導き出すプロセスの確認をする。それでもまだ解らないことがあれば、そこに大きく？マークをつけてあとで質問をするという作業を忘れてはいけない。よく自力で何とか答を導きだそうと1題につき5分も10分もかける人がいるが、(もちろん自分で考えるということは大切な作業だが)、時間をかけすぎるといのはいただけない。効率よく問題集を進めるためには、まずは解答や解説書にたずねてみよう。それでもわからなければ本当の先生に質問に来ればいいのである。もし20分以上かかったり、解説を読んでも理解できない場合には、易しい問題集や「安河内の新英語をはじめからていねいに」(東進ブックス)などの基礎を理解させるための名著から始めるとよいだろう。英文法を徹底的にわかりやすく解説してくれます。

#### 5. 正しいプロセスで正解したものには／のチェックを入れろ！

復習にかけられる時間もできるだけ短い時間で済ませたいのだから、分かりきっている問題を何度も繰り返す時間はないはずである。そこで正しいプロセスで正解した問には／を入れ、2度目もOKなら×のチェックをつけ、3度目の復習ではその問は飛ばしていく。ただし復習の時間がもったいないからといって日曜日に1週間分をまとめてやるというのは効率の悪いやり方である。夏休みの課題でも話したように、初日に4ページ進んだら翌日はその4ページの復習をしてから新しい4ページをやり、3日目はそこまでの8ページを復習してから新しい4ページに進むということを忘れてはいけない。ここで／の付いている問は簡単に確認する程度でいいはずだ。×の付いている問は飛ばしていい。復習にかけられる時間は多くても10分程度となるはずだ。もし復習に10分以上かかるようなら、解らないところをもう一度質問に来て納得して欲しい。

#### 6. なぜまとめて復習しても効率が悪いのか！

認知心理学によると、人間の記憶というものは24時間経つと始めの50パーセントに落ち込み、さらに24時間経つと15~20パーセントしか残っていないということである。そこで翌日50パーセントに落ち込みそうになったところでもう一度刺激を与えてやると、1週間経っても70~80パーセント覚えていられるということである。つまり1週間分をまとめて復習しようとしても週の初めの頃にやった問題はほとんどプロセスを忘れてしまっているため、それを思い出すのに時間がかかってしまい、勉強がはかどらない原因となってしまう。翌日には10分でできる復習も、1週間後には1時間かかってしまうこともある。ただし、日曜日の総復習がまったく必要ないといっているのではないので誤解しないように。翌日の復習で記憶が強化されたものも、1週間経つと急激に忘れていくことになるし、×のチェックがはいた問はしばらく復習されていないことになるので、日曜日にはもう一度全体を見直して定着させて欲しい。毎日の10分間の復習をしっかりしていれば、30分かからずに1週間分の総復習を終えられるはずだ。

#### 7. 1時間で4ページ進められる！

まとめると、①前回までの復習に10分、②解説を読むのに10分、③設問は1題につき解説を読んで正解へのプロセスの確認を含めて1分、④重要類題については、②と③をしっかりとやっておけば10題あっても4~5分でできるであろう。①~④までを合わせても30分で2ページ進められる。つまり勉強時間を1時間とれる人は、4ページを記憶に残しながら進められるのだ。

**Where there's a will, there's a way. (意志あるところに道がある)**

**第一志望の実現に向けて努力を重ねよう！**